



琵琶湖（対岸は比良山）

暮らしと雇用まもる市政へ全力

議会報告

新年度の野洲市予算を審議する3月定例会市議会は3月2日から26日まで開催されました。日本共産党市議団は、市民の暮らしや雇用を守る市政と市予算を求めました。



新年度予算 暮らしの要求が実現しました

3人目の保育園保育料無料化、妊産婦健診補助の拡大、中小業者支援へ県セイフティーネット融資の利子補給が実施され暮らしの要求が実現しました。また、過大な24億円の野洲駅前整備事業が見直しされることになりました。

「障害者自立支援法の原則1割負担廃止を」など…。切実な願いを意見書として提案しました

共産党市議団は、「障害者自立支援法の原則1割負担廃止を求める意見書」「保育制度の改革に関する意見書」など5件の意見書案を提案しました。市民の切実な願いですが、豊政会（自民党）や公明党はことごとく反対。市民の願いに背を向けました。（意見書5件は2面の下段に掲載しています）

一方で、市民負担強化とサービス切捨て

国保税（介護分）が一人平均3300円値上げ。幼稚園保育料（年額）も73200円から75600円に値上げされます。敬老祝金は（100歳）は30万円が10万円に。高齢者や障害者の介護激励金が2万円から1万円に引き下げられます。

市内循環バスが「財政難だから、背に腹はかえられない」として土曜日運休に。年間5万人が利用。その内、4万人は高齢者や障害者の方々です。現在、「今後のあり方を検討中」と言いながら突然の運休。削りやすいところから削る市政では暮らしは守れません。

共産党市議団 切実な願い交渉

「雇用問題」「危険な踏切改善」で申し入れ

共産党市議団は危険な踏切の改善を求めてJR西日本に。また、「雇用を守るよう市内企業に指導すべき」と市長に申し入れしました。



↑ 市長に「雇用と営業を守る緊急申し入れ」を行う市議団（1月14日）

市内で村田製作所や日立ツールが大量の派遣労働者を雇い止めています。市議団は、「雇用創出を目的に野洲市から1億円もの補助を受けている。市は行政指導すべき」と申し入れ。その結果、市長名で、「雇用の維持を求める緊急要請」がされました。



↑ JR西日本との交渉



↑ 子どもの通学に危険な新（あたりし）踏切

新踏切や柿の木原踏切の拡幅を

JR西日本（京都支社）に対して2月15日、危険な踏切の改善を申し入れました。

祇王小学校や篠原小学校の通学路となっている両踏切は直前まで歩道が整備されていますが、踏切内にはなく大変危険です。JRは「原則、立体化」を主張していますが、現実的な対策として早期の拡幅整備を求めました。

市議団ホームページをご覧ください
<http://www.yasusigi.net/>

一般質問
質案質疑

共産党市議団は代表・一般質問、議案質疑で要求実現へ切実な願いを届けました。

小菅六雄市議 父母の願いに応え学童保育所の整備をすすめるべきです



新年度の学童保育所入所申し込みは797名(6学童合計)でした。その内、510名が入所決定されました。それ以外の236名は学童保育所を「補充する」「子ども教室」への入所となっています。学童保育所を希望しながら、多くが「子ども教室」を選択せざるを得なくなっています。

「子ども教室」は施設のにも極めて不十分で、指導員さんの努力に頼るだけで、「学童の補充」というものではありません。このような「似て非なる」「補充」ではなく保護者の願いに応え、学童保育所そのものの整備を進めるべきと求めました。

不明朗な市有地処分を止しました

駅前北野地先の市有地(204㎡)が昨年10月、随意契約で約半値(2367万円)で売払われました。地方自治法など関連法律や国が示す「財産処分のあり方」からみれば、当然、入札により処分すべきものです。市は随意での処分を正当化していますが、市民に損害を与えたもので許されません。

野並享子市議 払いたくても払えない高い国保税値上げやめよ



国保税(介護分)が一人平均3300円値上げされました。これでは高すぎて払えません。市民から、「勤め先が社会保険でないため、国保税や年金が高すぎて払えない」と相談を受けました。それもそのはず、年収約170万円で一人暮らしの場合、国保税と国民年金で約30万円にもなります。

年収200万円以下の働く貧困層の美態掌握と高い国保税引き下げへ一般会計からの繰り入れや、国庫負担率を元に戻すことを求めました。市は「年収200万円以下は、19年度で18.3%。20年度は生活保護世帯も増えている。社会問題」との認識を示しましたが、「国保は互助制度」として値上げを正当化しました。

3人目の保育料が無料になります

安心して子育てができる野洲市をめざし、これまで市議会や毎年の予算要望で一貫して「3人目の保育料無料化」を求めていました。その結果、今年4月からの無料化が実現しました。暮らしが大変な時です。引き続き、福祉を守る市政実現がんばります。

署名にご協力を

6月定例会市議会に提出します。暮らしを守る署名にご協力ください

「中学校卒業までの医療費無料化」「消費税増税反対」の署名にご協力ください



太田健一市議 住みよい野洲市へ、若者まちづくり委員会の設置を

野洲のまちは京都・大阪への通勤圏としてベッタタウン化していますが、現状は、周辺部では農業も疲弊し過疎化しています。また、転入者の方も多忙な中、帰って寝るだけの生活の場となっているようにも感じます。子どもが遊ぶ姿も少なく、若者の活気が影をすくめているのではないかと思います。

野洲市には、山もあり河も流れ琵琶湖にも面した、豊かな自然に恵まれているまちです。この地域の未来を担って行くのは若い世代であり、魅力豊かな街づくりの一つとして若者の意見や考えを取り入れ、斬新かつクリエイティブなアイデアを反映させて行く事が必要です。そのために、若者による「まちづくり委員会」を設置し推進することを求めました。

「雇用や暮らしに使ってほしい」と、国民の多くが反対した定額給付金ですが、国の制度として決まった以上、国民は給付を受ける権利があります。高齢者世帯や弱い立場の方々にも速やかに給付されるよう求めました。

3月定例会の主な議案の態度	太田健一(共)	野並享子(共)	小菅六雄(共)	三和郁子(市)	川口東洋(市)	鈴木市朗(市)	西本俊吉(ネ)	本田章紘(ネ)	矢野隆行(公)	梶山幾世(公)	立入三男(豊)	内田聡史(豊)	奥村治男(豊)	田中良隆(豊)	藤下茂昭(豊)	中島一雄(豊)	田中孝嗣(豊)	中田幸子(豊)	小島進(豊)	原田薫(豊)	田中栄太郎(豊)	林克(豊)	秦眞治(豊)	河野司(豊)	
意見書は共産党市議団が提案 ○=賛成 ●=反対																									
一般会計予算(介護激励金削減、幼稚園保育料値上げ、同和行政継続)																									
一般会計補正予算(随意契約で市有地を安い価格で売り払い)																									
国民健康保険税(介護分)の値上げ(1人平均3300円)																									
敬老祝金条例改正(100歳の30万円を10万円に引き下げ)																									
「住宅リフォーム制度実施」「セイフティーネット保証料負担」の請願																									
障害者自立支援法の原則1割負担廃止を求める意見書																									
保育制度の改革に関する意見書																									
政党助成金の廃止を求める意見書																									
消費税増税を行わないことと当面食料品の非課税を求める意見書																									
雇用危機を解決する抜本的対策を求める意見書																									
その他、33議案(全員賛成の議案です)																									

共 = 日本共産党(3名)、市 = 市民ねっと(3名)、ネ = ネットワーク野洲(2名)、公 = 公明党(2名)、豊 = 豊政会(14名)